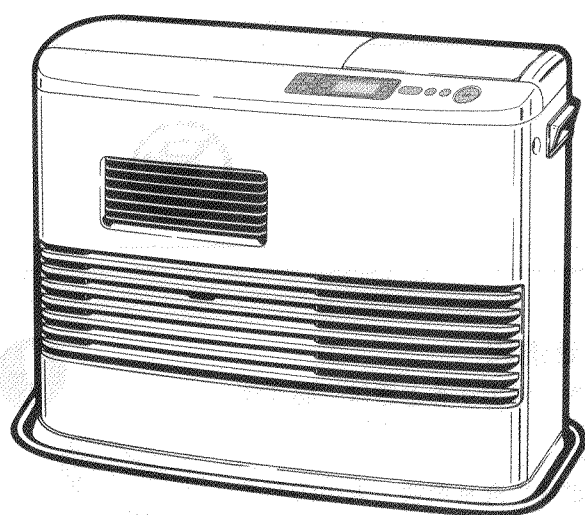
CORONA

コロナ石油ファンヒーター（強制通気形開放式石油ストーブ）

取扱説明書

正しく使って上手に節約

FH-E62Y

このたびは、コロナ石油ファンヒーターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」と共に大切に保管してください。
同梱の「ご愛用者カード」は必ずご投函ください。

もくじ

1 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合はガソリン禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠危険

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

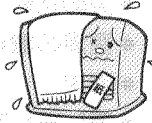
⚠警告

スプレー缶厳禁

殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発し、危険です。

● 特に、ボンベがセットされたカセットコンロなど危険ですので、温風のあたるところには置かないでください。

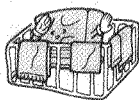
温風吹出口をふさがないで

● 衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

● ストーブガードなどの囲いに干し物を掛けたり、衣類・紙などで温風吹出口や空気取入口をふさいだ場合や、カーテンなどで背面の温風空気取入口がふさがれると、本体が過熱して、操作部等が変形したり、やけどや故障・破損するなど大変危険です。

寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。又、人目の届かないところでは、使用しないでください。
不完全燃焼や異常燃焼・火災のおそれがあります。

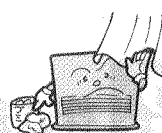
換気必要

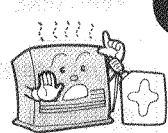
換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
使用中は必ず1時間に1～2回（1～2分）換気して、新鮮な空気を補給してください。
換気が十分におこなえない場所（窓が凍結している部屋、地下室など）では、使用しないでください。

可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

⚠注意

カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそば、ほこりの多い場所などでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

給油時消火

給油は、必ず消火してからおこない、こぼれた灯油は、よくふきとってください。
火災のおそれがあります。

⚠注意

異物差しこみ禁止

温風吹出口やファンヒーターの内部には、紙・布・プラスチックなどの異物を入れないでください。
発煙・発火のおそれがあります。
温風空気取入口の中に、指や棒などを差しこまないでください。
けがをするおそれがあります。

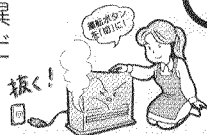
油漏れ確認

給油口は確実にしめ、給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてください。
給油口が確実にしまっていないと簡単に開いて、火災のおそれがあります。

居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところでおこなってください。
火災のおそれがあります。

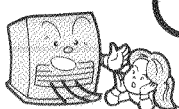
異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

- 緊急時は電源プラグを抜いて消火してください。

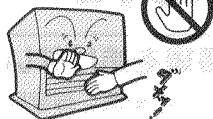
ほこりの除去

エアーフィルタは、週1回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどでフィルタがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

- お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになる場合は、周囲の人が十分注意してください。
- 衣類などを乾燥した場合、素材によっては色あせすることがあります。

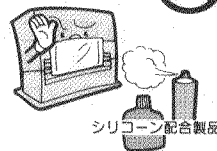
高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、温風吹出口付近が高温となりますので、手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

- 小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

分解修理・改造の禁止

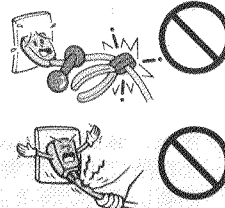
故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

シリコーン配合製品に注意

ファンヒーターをご使用のお部屋では、枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などシリコーン配合の商品を使用しないでください。
燃焼部にシリコーン酸化物が付着し、点火ミスや途中消火などの原因となります。

シリコーン配合の商品には、
- ヘアケア製品（ヘアートリートメント、ムース、枝毛用コート液）
- 家具や床のつや出し剤
- 化学ぞうきん
- ガラスクリーナー
- 制汗剤
- 衣類の柔軟剤

などがあります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差しこむ

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

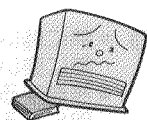
電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり及び金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

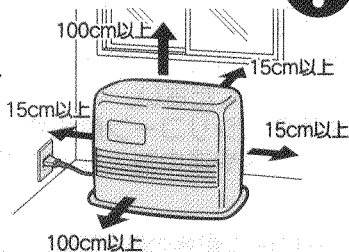
次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。
- 水平でない場所、不安定な場所
- 風のあたる場所、部屋の出入口
- マントルピースなどファンヒーターが囲われる場所
- ほこりや湿気の多い場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所又はたまる場所
- 直射日光の当たる場所、温度の高い場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 標高が1000mを越えるような高地
- 理・美容室、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所

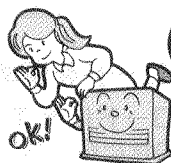
傾き・振動注意

水平な場所で使用してください。
振動の激しいところでは、使用しないでください。
異常燃焼や誤作動の原因になります。

⚠注意

可燃物との距離を離す

燃えやすいものや障害物とは、必ず図に示す距離をとって設置してください。
特にカーテンなどがファンヒーターにふれないようにしてください。
火災の発生するおそれがあります。

●壁などに近づけすぎますと、本体内部が過熱して安全装置が作動することがあります。

正常燃焼の確認

正常に燃焼していることを確かめてください。（7ページ参照）

●燃焼に必要な空気の濃度が薄くなる高地(標高800mを越える場所)では、燃焼調整が必要です。
お買い求めの販売店にご相談ください。

灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。

保管時にしていただくこと

長期間使用しないとき又は保管するときは、必ず灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
火災のおそれがあります。

日常のお手入れ時の注意

日常の点検・手入れは必ずおこなってください。
点検・手入れは消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。やけどや感電のおそれがあります。（11～12ページ参照）

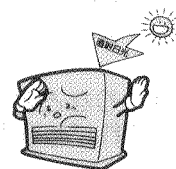
廃棄するときの注意

ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ず給油タンク・固定タンク内の灯油を抜き取ってください。（12ページ参照）
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

変質灯油禁止

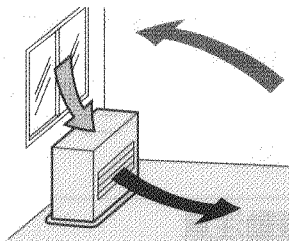
変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。

高温注意

直射日光のあたる場所や、温度の高い場所（例：熱のこもる場所、他の熱源の影響を受ける場所）では使用しないでください。

●給油タンク内の空気の膨張により、灯油があふれることがあります。

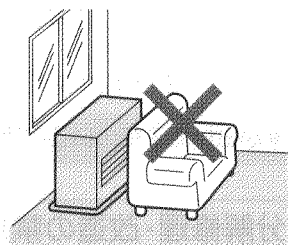
2 効果的に使用するために

窓の下や壁面に設置

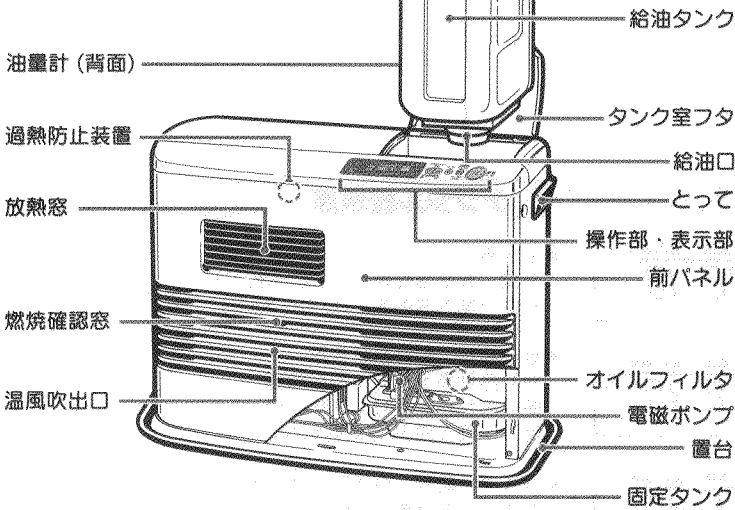
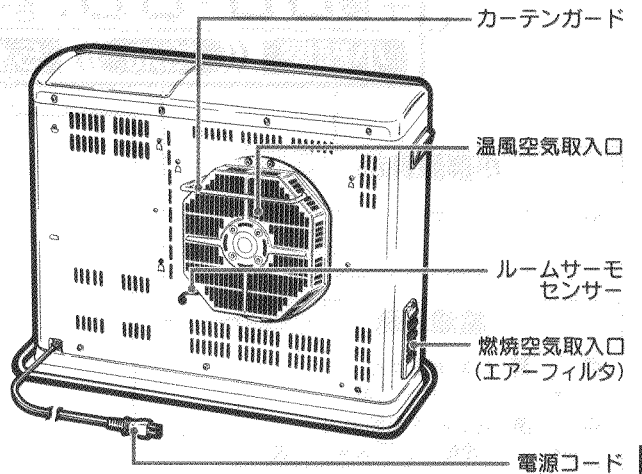
●外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がファンヒーターで暖められ、温風として対流しますので効果的です。

温風の循環を妨げないで

●温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。

●障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。

●温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。

ご注意 ●熱に弱いカーペットや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。
熱に強いマットなどを敷いてください。
●移動するときは引きずらないでください。床面、畳、カーペットに傷をつけたり、本体底面の塗装がはがれてさびの原因になるおそれがあります。

3 各部の名称

外観図・構造図

操作部

● ((•)) 表示のある項目は、点灯初期にアラームが3回鳴ります。

ゆらぎ省エネキー

- ゆらぎ省エネ運転のセット・解除をするときに押します。 （8ページ）

ゆらぎ省エネランプ

点　灯	ゆらぎ省エネ運転中（セーブ消火中も点灯）

（8ページ）

タイマー運転ボタン（タイマーランプ兼用）

- タイマー運転するときに押します。

点　灯	タイマー運転中
点　灯 ((•))	タイマー運転による1時間自動消火

（9〜10ページ）

運転ボタン（運転ランプ兼用）

- 点火・消火するときに押します。

点　滅	予熱中（予熱完了後自動点火）
点　灯	燃焼中
早い点滅	何かの原因で自動消火

（7・8ページ）

表示部

設定温度　室内温度
午前
午後
88:88
時計合せ
タイマー合せ
小部屋　給油　5秒

ゆらぎ省エネ　小部屋　5秒点火　表示切換　時計/タイマー合せ　（時）温度調節（分）　タイマー　延長時間セレクト　チャイルドロック　運転 入/切

延長時間セレクトボタン

- 運転を延長するとき、運転残り時間をセレクトするときに押します。 （8ページ）

チャイルドロックボタン

- チャイルドロックのセット・解除をするときに押します。 （9ページ）

時計/タイマー合せボタン

- 現在時刻とタイマー時刻を合わせるときに押します。
  〔時〕……時合せ
  〔分〕……分合せ （9ページ）

温度調節ボタン

- 設定温度を変えるときに押します。
  〔∨〕……温度を下げる
  〔∧〕……温度を上げる （8ページ）

小部屋キー

- 小部屋モードのセット・解除をするときに押します。 （9ページ）

5秒点火キー

- 5秒点火のセット・解除をするときに押します。 （7ページ）

表示切換キー

- 1回押すごとにデジタル表示が切りかわります。（9ページ）

運転時：温度表示
停止時：時刻表示
↓
時計合せ表示
↓
タイマー合せ表示

表示部

注）イラストは説明のため全部点灯・表示した状態です。

設定温度　室内温度
午前 午後 88:88 時計合せ タイマー合せ
小部屋　給油　5秒

小部屋表示

点　　灯	小部屋モードのセット中

（9ページ）

給油表示

点　　滅 ((•))	自動消火する 20～40分位前
点　　滅 ((•))	油切れで自動消火（運転ランプは早い点滅）

（6ページ）

5秒点火表示

点　　灯	5秒点火ができます。

（7ページ）

デジタル表示部

表示	説明
設定温度　室内温度 22 18	●温度表示 左側：設定温度表示(12℃～30℃) 右側：室内温度表示(0℃～35℃)
設定温度　室内温度 午前 8:30 時計合せ	●現在時刻、時計合せ表示 時計合せ表示消灯：現在時刻 時計合せ表示点灯：時計合せ （例）午前8時30分に時刻をセット
設定温度　室内温度 午前 6:30 タイマー合せ	●タイマー時刻、タイマー合せ表示 タイマー合せ表示点灯 （例）午前6時30分にタイマー時刻をセット
設定温度　室内温度 -- --	●-- --表示 初めて電源プラグをコンセントに差しこんだ場合や停電後の再通電
設定温度　室内温度 OFF	●OFF 表示点滅：消し忘れ消火装置による自動消火5分前 ●OFF 表示点灯：消し忘れ消火装置による自動消火、タイマー運転による1時間自動消火
設定温度　室内温度 CL	●CL 表示：チャイルドロックのセット表示 運転ボタンを押しても点火しません。（CL 表示点滅）
設定温度　室内温度 E9	●E9 表示：対震自動消火装置の作動 再度、点火操作をしてください。 ●その他のE表示：途中失火・着火不良(14ページ参照) 灯油の有無を確認後、再度点火操作をしてください。

4 使用前の準備

使用前の準備

包装箱からファンヒーターを出す

●包装箱からファンヒーターを取り出し、パッキン材を取り除いてください。

●包装箱、パッキン材はファンヒーターの保管に必要です。また、取扱説明書も忘れずに保管してください。

●次のことは、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。
- 固定タンクに少量の灯油が残っている。
- オイルフィルタがぬれている。
- 温風吹出口から見える燃焼筒（炎を囲んでいる筒）が変色している。

カーテンガードをセットする

●ファンヒーターをご使用になる前に、必ずカーテンガードをセットしてください。

- 温風空気取入口に取り付けてあるカーテンガードを〔使用位置〕まで倒してください。
- シーズンが終り、箱に入れて保管するときは、カーテンガードを〔収納位置〕に戻してください。

使用燃料

燃料は必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。

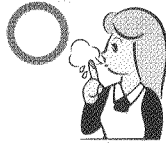
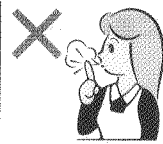
● ⚠危険 ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

● ⚠注意 変質灯油、不純灯油、汚れた油、水の混じっている灯油などは絶対に使用しないでください。

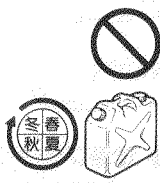
●添加剤や助燃剤などは使用しないでください。

●灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。
(火の気のない所でおこなってください。)

灯油は
ぬれたまま

ガソリンは
すぐ乾く

変質灯油・不純灯油とは……

昨シーズンより持ち越しの灯油

長期間日光にあたる所や温度の高い所に保管した灯油

容器のふたが開けてあったり、乳白色のポリ容器で保管した灯油

水・ごみや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油

- 極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱい臭いがします。
- 必ず灯油用のポリタンクをお使いください。
- 灯油はシーズン中に使いきりましょう。

■変質灯油や不純灯油を使用すると…

- 気化筒にタールがたまり、白煙が出て点火しにくくなったり、強い臭いがして、消火しにくくなります。
- 異常燃焼や途中消火など故障の原因になります。

■万一変質灯油や不純灯油を使用したときは…

- 給油・固定タンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で2～3回洗ってから使用してください。(悪い油が残っていると再発します。)
- 悪い油を抜きとっても効果のないときは、お買い求めの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ご注意
- 変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
- 変質灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買い求めの販売店にご相談ください。

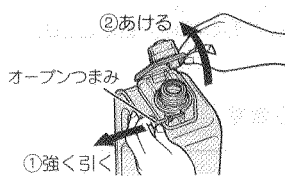
使用前に

給油

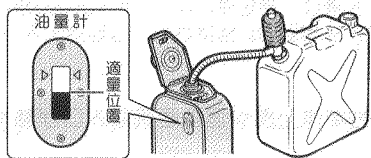
- ⚠注意 給油は必ず消火してから火の気のないところでおこなってください。

給油の手順と注意

1.給油タンクを取り出し、給油口を開く

- オープンつまみを強く引いて、給油口を開いてください。

- 燃焼中は絶対に給油タンクを取り出さないでください。
- 給油タンクは、ぶつけたり落としたりしないよう、ていねいに取り扱ってください。

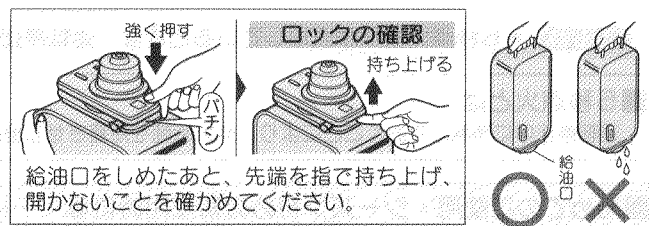
2.給油する

- 市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油し、あふれさせないよう注意してください。
- 油量計の半分くらいまで色が変わったら、給油をやめてください。

- 灯油が油量計のところまで入ってくると、黒色に変わってきます。
- 給油口に力を加えて変形させますと、油漏れの原因になりますので、変形させないでください。

- 給油ポンプのホースが抜けないよう注意してください。

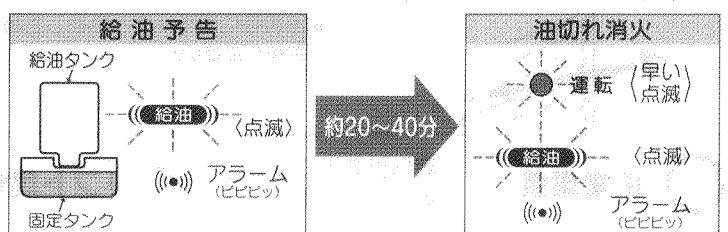
3.給油口をしめる

- ⚠注意 **給油口は、確実に「パチン」と音がするまで図の位置を強く押してください。**
給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてから、ファンヒーターに正しく静かに入れてください。固定タンクや給油タンクに強い衝撃をあたえると、油漏れや故障の原因になります。
- 給油口の弁部などに、ごみなどがはさまっている場合は取り除いてください。

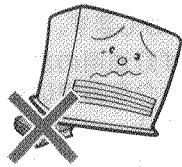
給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確かめてください。

- こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- 給油タンクが正しくセットされていないと、不着火や途中消火の原因になります。

- ⚠注意 **給油は必ず消火してからおこない、ファンヒーターの近くでは絶対に給油しないでください。**
- 冷えたところで給油し、給油量が少ない(半分以下)場合は、給油口を開いたまま、しばらく室温になじませてからセットしてください。

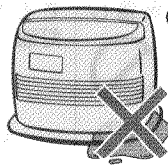
灯油が少なくなると……

- ご使用中、固定タンク内の灯油が少なくなると、給油表示とアラームで給油の予告をしますので、早めに給油してください。
給油しないで使用し続けますと、油切れとなり自動消火し、アラームと給油表示の点滅・運転ランプの早い点滅でお知らせします。

ご注意
- 灯油がなくなって消火した場合は、必ず給油してから点火操作をおこなってください。
給油をしないと再運転できません。

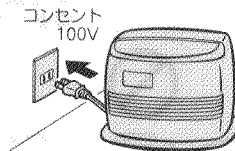
点火前の準備と確認

水平な場所に設置

●水平で安定のよい床の上に設置してください。

- 水平に設置されていれば、対震自動消火装置は自動的にセットされます。
- 傾斜した場所や、振動の激しい場所で使用すると、燃焼不良の原因になります。又、対震自動消火装置が正しく作動しません。

油漏れの確認

●置台・給油タンクに、油漏れ・油たまりや油のにじみがないか確認してください。

- 油漏れのときは、使用を中止し、給油タンクを取り出してからお買い求めの販売店にご相談ください。

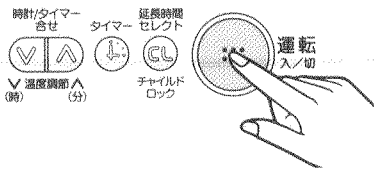
電源の接続

●電源プラグをコンセントに刃の根元まで確実に差しこんでください。

ご注意　電源プラグ･コードの発熱･発火を防ぐために…

- 電源は、必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持っておこなってください。
- ほこりなどの付着がないか、ときどき点検・掃除をしてください。

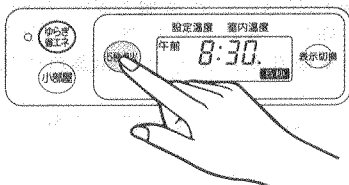
5 使用方法

点火

運転ボタンを押す

●運転ランプが点滅します。
●予熱が完了すると自動点火し、運転ランプは点灯に変わります。

- 着火時、放電音と同時に着火音を発しますが、異常ではありません。
- 点火操作から放電（着火）まで、室温により多少変化しますが、約2分の予熱時間がかかります。（低温時（5℃以下）は、約2～3分の予熱時間がかかります。）
- 点火時や消火時には、白煙や臭いがでますが異常ではありません。（寒いときの点火時には、燃焼ガス中の水蒸気が白く見えるため、通常より多めの白煙が出ます。）

5秒点火

5秒点火キーを押す

●5秒点火表示が点灯します。
●5秒点火表示を点灯しておきますと、点火操作後、約5秒で点火します。
●5秒点火を解除するときは、もう一度5秒点火キーを押して、5秒点火表示を消灯してください。

- あらかじめ5秒点火表示を約2分以上点灯しておかないと、5秒点火しません。
- 5秒点火は12時間たつと自動的に解除されます。
- 5秒点火表示が点灯しているときは、運転停止中のみ約100Wの消費電力がかかります。
- タイマー運転にすると5秒点火は自動的に解除され、5秒点火キーを押しても5秒点火表示は点灯しません。

ご注意 ● **5秒点火表示が点灯しているときは、運転停止中でも本体上部や温風空気取入口が熱くなります。**

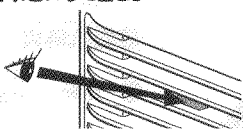
■5秒点火とは……

運転停止中に予熱しておくことにより、点火時間を短縮させる機能です。

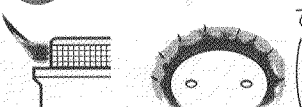
■初めてのご使用・シーズン初めの初使用時には………

- 給油タンクをセットしてから、4～5分位待って点火操作をしてください。
- 防錆油や塗料などが焼けるため、煙や臭いがでます。しばらくの間、換気をしながらご使用ください。
- 送油経路の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。点火操作を2～3回くりかえしてください。
- 着火時、送油経路への空気の混入により、煙や臭いが発生し、一時的に炎が大きくなることがありますが異常ではありません。
- 予熱時間が通常より少し長くなることがあります。

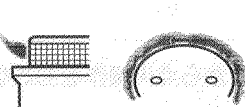
炎の状態

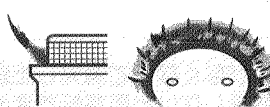
炎の状態の確認

●着火しましたら、燃焼確認窓から燃焼状態を確認してください。

- 出荷時に燃焼状態を調節してあります。万一、燃焼状態が不適正の場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

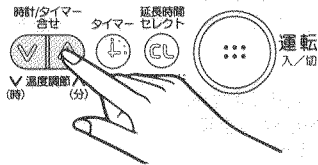
○ 正常燃焼

青い炎の中に少し黄色い炎が混じっている。

（バーナが赤熱することがありますが異常ではありません。）

× リフト燃焼

炎が飛んだり浮いたりし、音や臭いが出て、立消えすることがある。

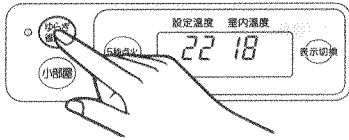
× 黄火燃焼

黄色い炎が連続して全周に出ている。

室温の調節

温度調節ボタンを押す

●温度調節ボタンを押して希望の温度に合わせてください。

- 初期設定温度は22℃です。
- ルームサーモセンサーにより、設定温度に応じて自動的に火力調節をおこないます。
- ルームサーモセンサーはファンヒーター周辺の温度を感知していますので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
- ファンヒーターに直射日光やすきま風があたっていたり、他の光熱器具の影響を受けている場合には、ルームサーモセンサーが正確に作動しません。

ゆらぎ省エネ運転

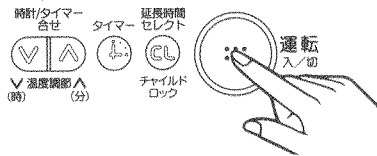
ゆらぎ省エネキーを押す

●ゆらぎ省エネランプが点灯します。
●通常運転に戻す場合は、ゆらぎ省エネキーを再度押してください。
ゆらぎ省エネランプが消灯します。

■ゆらぎ省エネ運転とは……

室温が設定温度まで上昇し、一定温度を保って暖房すると暖かさを感じにくくなります。
そこで火力(燃焼量)を周期的にコントロールし、室温を微妙に変化(ゆらぎ)させることにより、暖かさを保ちながら火力をおさえて効果的に暖房します。
さらに室温が設定温度より約3℃上昇すると、自動的に消火(セーブ消火)し、設定温度まで下がると自動的に再点火し、室温を調節します。
最小火力でも室温が上昇する場合(気温の高いとき、日あたりのよい部屋など)は、ゆらぎ省エネ運転をお選びください。

- セーブ消火中は、ゆらぎ省エネランプのみ点灯しています。
- ゆらぎ省エネ運転にセットすると、電源プラグを抜いたり、停電などがないかぎり、運転ボタンを押すと自動的にゆらぎ省エネ運転となります。

消火

運転ボタンを押す

●消火し、運転ランプが消灯します。

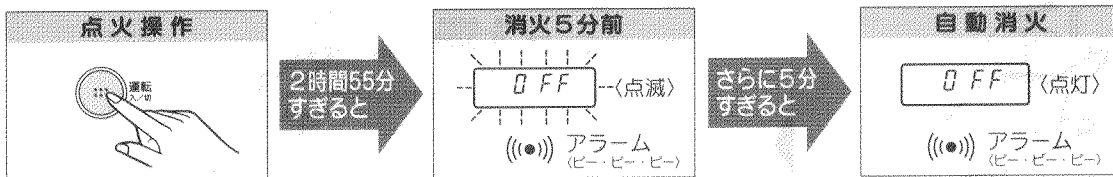
- 消火後、本体内部が冷却するまで送風ファンが回ります。送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。
- 消火操作後は、火が消えていることを確かめてください。
- 消火時、電磁ポンプの制御音(ヒューンというような音)がします。

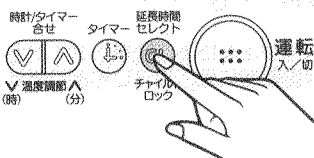
ご注意
- 緊急時以外に、ファンヒーターに強い衝撃を与えたり、電源プラグを抜いての消火はしないでください。
- 消火直後に再点火すると、着火音が多少大きくなります。
- むやみに点火、消火をくりかえすと、臭いの原因になります。

消し忘れ消火装置(3時間自動消火機能)

万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間で自動消火し、アラームと OFF 表示の点灯でお知らせします。

2時間55分すぎると

さらに5分すぎると

延長時間セレクト

延長時間セレクトボタンを押す

●連続で運転したいときは、自動消火する前に延長時間セレクトボタンを押してください。
押したときから、さらに設定した時間だけ運転を継続します。

延長時間セレクトボタンを1回押すごとに、運転残り時間が次のように選べます。

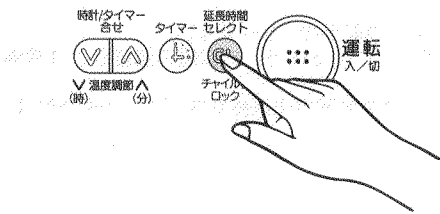
(もう1度押すと3時間になります。)

延長時間セレクトボタンを押している間、デジタル表示部には延長時間が表示されますが、手を放すと自動的に温度表示に切りかわります。

- ⚠警告 長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

使用方法

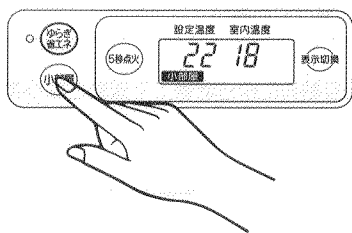
チャイルドロック

チャイルドロックボタンを3回押す

●停止中にチャイルドロックボタンを3秒以内に3回押してください。
●チャイルドロックがセットされ、デジタル表示が CL となります。
●チャイルドロックの解除は、再度チャイルドロックボタンを3秒以内に3回押してください。

- チャイルドロックのセット中は、運転ボタンを押しても点火しません。（運転ボタンを押すと、アラームと CL 表示の点滅でお知らせします。）
- 5秒点火セット中は、チャイルドロックのセットはできません。

■チャイルドロックとは……
お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転ボタンを押しても点火しないようにしたいときに使用する機能です。

小部屋モード

小部屋キーを押す

●点火操作後、小部屋キーを押してください。
●小部屋モードがセットされ、小部屋表示が点灯します。
●小部屋モードの解除は、再度小部屋キーを押してください。小部屋表示が消灯します。

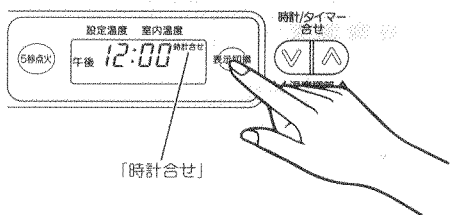
- 点火後1分間および室温が低い場合（0℃以下）は、通常の最大火力で燃焼します。

小部屋モードの最大火力での適室	木造10畳・コンクリート14畳

■小部屋モードとは……
最大火力を切りかえる機能です。
最大火力を下げて使用したい場合（小さなお部屋、春先・秋口など）は、小部屋モードをお選びください。

タイマーの使用方法

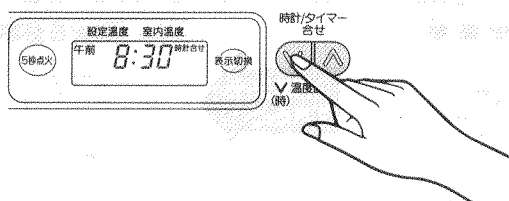
現在時刻の合わせかた

1.時計合せ表示にする

「時計合せ」

●表示切換キーを押して、デジタル表示部を時計合せ表示にしてください。

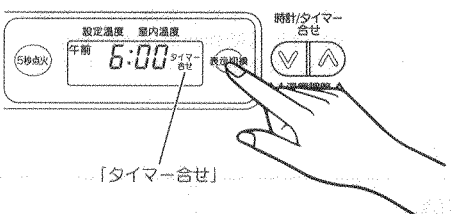
- 未セットの場合、初期表示は午後12:00となります。

2.時刻を合わせる

［例］午前8時30分に時刻をセット

●時計 / タイマー合せボタン（時）・（分）を押して、デジタル表示部の時刻を合わせてください。
●ボタンを押しつづけると、表示は連続して変わります。

- 時刻を合わせるときは、午前、午後をまちがえないよう注意してください。
- 5秒間操作がないとき、デジタル表示は自動的に元の表示にもどります。

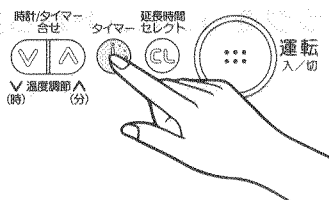
タイマー時刻の合わせかた

タイマー合せ表示にする

「タイマー合せ」

●表示切換キーを押して、デジタル表示部をタイマー合せ表示にしてください。
●現在時刻の合わせかたと同様にして希望のタイマー時刻に合わせてください。

- タイマー時刻は、1度セットすれば記憶されます。
- 未セットの場合、初期表示は午前6:00となります。
- 5秒間操作がないとき、デジタル表示は自動的に元の表示にもどります。

タイマー運転のしかた

タイマー運転ボタンを押す

●運転中、又は運転ボタンを押した後、タイマー運転ボタンを押してください。
●タイマーランプが点灯し、デジタル表示部は時刻表示に切りかわります。
●合わせた時刻になると、自動的に運転を開始します。
●タイマー運転を解除したいときは、運転ボタンを押してください。
タイマーランプが消灯します。

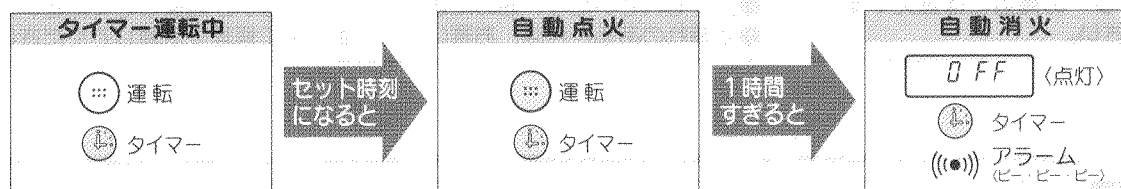
●室温が低いときは、タイマー時刻より早め（5～15分位）に運転を開始します。

点火後1時間で自動消火します。

●安全にご使用いただくため、点火後1時間で自動消火し、アラームとOFF表示の点灯でお知らせします。（タイマーランプは点灯）

タイマー運転中

自動点火

自動消火

続けて運転したいときは、再度点火操作をしてください。

● ⚠警告 長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

ご注意 ●タイマー運転は、特に周囲に可燃物がないことを確認してください。
●タイマーセット時刻を確認するときは、表示切換キーを押して、デジタル表示部をタイマー時刻表示にしてください。
●未セットの場合や電源プラグをコンセントから抜いたとき、停電後再通電したときは、タイマー運転はしません。
再度、現在時刻合わせ・タイマー時刻合わせをおこなってください。

6 安全装置

このファンヒーターには次のような安全装置がついています。
すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安全装置	原因	処置方法
対震自動消火装置	●強い地震や振動、衝撃を受けたとき E9	●地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、本体の損傷、灯油のあふれなど異常がないことを確認した後、点火操作をしてください。 (作動後は自動的にセットされます。)
不完全燃焼防止装置	●部屋の換気不足のとき ●エアーフィルタの目づまりによる燃焼用空気不足のとき E4	●部屋の換気をしてから点火操作をしてください。 ●エアーフィルタを掃除してから点火操作をしてください。 ●1時間に1～2回程度必ず換気してください。
点火安全装置 燃焼制御装置	●点火ミスをしたとき ●異常燃焼をしたとき E0・E2	●日常の点検・手入れ（11～12ページ参照）をしてから点火操作をしてください。 ●なおも異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
停電安全装置	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき (空白)(作動時)・-- --(復帰時)	●通電後、点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。
過熱防止装置	●温風空気取入口や温風吹出口がふさがったとき ●温風吹出口の前面に障害物などがあるとき (空白)(作動時)・-- --(復帰時)・EH(作動時)	●本体が冷えてから、温風空気取入口や温風吹出口の点検・清掃、周囲の確認をした後、点火操作をしてください。 ●処置後も作動する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
消し忘れ消火装置	●万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間で自動消火します。 OFF	●点火操作をしてください。（8ページ参照）

点検・その他

7 日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

- ⚠注意 燃焼部の分解、電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
- ファンヒーターおよびその周辺は、いつもきれいに掃除しておいてください。
- 故障・破損したものは使用しないでください。

使用ごと

周辺の可燃物の点検

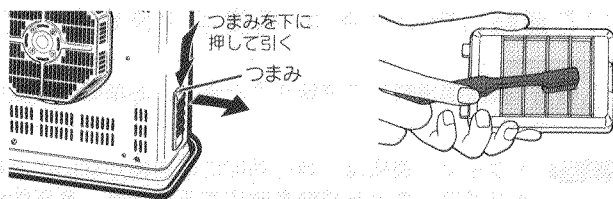
● ⚠注意 ファンヒーターの周辺には燃えやすいものを置かないでください。

油漏れ・油のたまり・油のにじみの点検

●油がもれていたり、油のたまり、にじみがないか点検してください。
●油漏れのあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

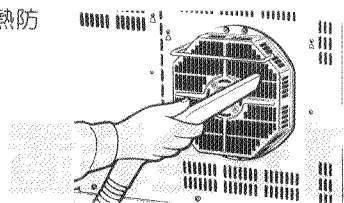
週に一回以上

エアーフィルタの掃除

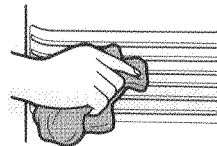
⚠注意 エアーフィルタが、ごみやほこりで目づまりすると燃焼不良の原因になります。
●エアーフィルタをはずして、掃除機又は、ブラシできれいに掃除してください。

ご注意
- 水洗いをしたときは、よく乾燥させてから取り付けてください。
- エアーフィルタをはずしたままで使用しないでください。（はずしたままでご使用されますと、ごみ・ほこりなどが送風経路に侵入し、異常燃焼の原因になります。）

温風空気取入口の掃除

背面の温風空気取入口に綿ごみなどが付着すると風量が減少し、本体内部の温度が上昇して過熱防止装置が作動することがあります。

●掃除機又は、ブラシできれいに掃除してください。

ご注意
- ルームサーモセンサーをむやみに曲げたり、ひっぱったりしないでください。
- 羽根や内部にごみやほこりなどが多く付着したときは、お買い求めの販売店又は、修理資格者のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

温風吹出口の掃除

温風吹出口に付着したほこりなどが焼けたり、白く変色することがあります。
●本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。

ご注意
- 温風吹出口はホーロー仕上げですので強い力を加えないでください。変形したり、ホーローがはがれたりすることがあります。

月に1回以上

対震自動消火装置の点検

●燃焼中に本体をゆすり、対震自動消火装置が作動して消火するか確認してください。
作動するとデジタル表示部に E9 を表示します。

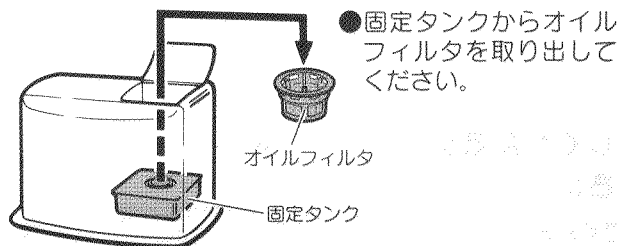
ご注意
- 対震自動消火装置は絶対に分解しないでください。

シーズンに１回以上

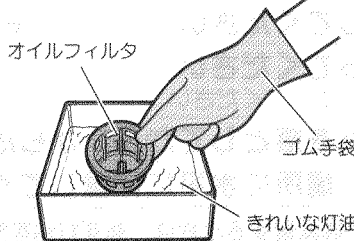
オイルフィルタ・固定タンクの掃除

オイルフィルタや固定タンクに水やごみがたまると、給油タンクに灯油が入っていても………………

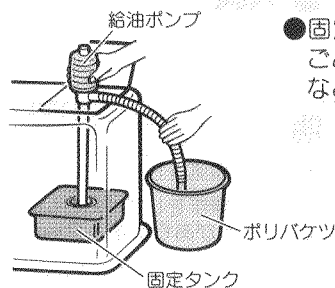
- 点火しない――――E0・E2
- 炎がリフトし、臭いがする
- 点火しても途中消火する――E4
- 給油表示が点滅し、運転しない

1.オイルフィルタを取り出す

●固定タンクからオイルフィルタを取り出してください。

- オイルフィルタを取り出すとき、水やごみを固定タンクに落とさないよう注意してください。

2.きれいな灯油で洗う

●オイルフィルタの中の水やごみを取ってからきれいな灯油で洗ってください。
●ごみが取れにくい場合は、歯ブラシなどを使うと便利です。

- フィルタ部を破損させないよう注意してください。
- フィルタ部に水が付着した場合は、十分に乾燥させてください。

3.ごみや水を抜く

●固定タンク内にたまっているごみや水を市販の給油ポンプなどで抜いてください。

4.オイルフィルタをセットする

●オイルフィルタをもとどおりにセットしてください。

- こぼれた灯油はよくふき取ってください。

ご注意
- 水洗いは絶対にしないでください。水で洗うと灯油が通過しなくなります。
- オイルフィルタ及び固定タンクの掃除をおこなっても、点火しない・炎がリフトし臭いがする・途中で消火する場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

放熱窓について

放熱窓は、特殊耐熱ガラスですが、ガラス面に衝撃をかけたりすると割れることがあります。

ご注意
- 割れたままでの使用は危険ですので絶対にしないでください。
また、長時間使用されますとガラスの表面が白く汚れてきますが異常ではありません。

8 定期点検

長期間ご使用になりますと、器具の点検が必要です。

●2年に１回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店又は、修理資格者〔(財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

9 部品交換のしかた

●⚠注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買い求めの販売店又は、修理資格者〔(財）日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店にご相談ください。

●部品交換は コロナ純正部品 とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

■特に消耗・劣化しやすい部品（高温火炎中で使用される部品）	■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品	■変質灯油・不純灯油の使用により劣化しやすい部品
●点火プラグ ●炎検知器(フレームロッド)	●バーナヘッド ●バーナヘッドリング ●放熱器	●オイルフィルタ ●ポンプフィルタ ●炎検知器(フレームロッド) ●気化筒 ●電磁ポンプ

点検・その他

10 保管（長期間使用しない場合）

おしまいになるときは、日常の点検・手入れの項を参照し、次の要領で保管してください。

1.電源プラグをコンセントから抜いてください。

2.温風空気取入口・温風吹出口・エアーフィルタの掃除をしてください。（11ページ参照）

3.給油タンクと固定タンク内の灯油を抜き取ってください。（12ページ参照）
●水、ごみなどを残したまま保管すると、さびや穴あきの原因になります。

4.オイルフィルタの掃除をしてください。（12ページ参照）

5.本体のごみやほこりを取ってください。
●掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

6.本体をしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。（11ページ参照）

7.包装箱に入れて、乾燥した場所に水平に保管してください。

● ⚠注意 **長期間使用しないとき又は保管するときは、必ず灯油を抜いてください。**
逆さにしたり、傾けたり、横倒しの状態では絶対に保管しないでください。抜けきれなかった灯油がもれて火災のおそれがあります。
●取扱説明書も大切に保管してください。

11 故障・異常の見分け方と処置方法

次のような現象は故障ではありません。
●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現象	説明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙や臭いがでる。	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。しばらく窓をあけて換気をしてください。
	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に1回で着火しない。	固定タンクに灯油がみたされるまで4～5分位待って点火操作をしてください。 送油経路の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。2～3回点火操作をくりかえしてください。
	すぐに点火しない。	石油ガス化方式のため予熱時間が2分程必要です。 （予熱時間は室温により多少変化します。） 初使用時は予熱時間が通常より少し長くなることがあります。
	点火時や消火時に白煙や臭いが出る。	点火時や消火時の多少の白煙や臭いは異常ではありません。
	燃焼開始時や消火後に「ピチ・ピチ」という音がする。	器具本体が熱により膨張、収縮するためです。
燃焼時	点火プラグ・炎検知器・バーナヘッドが赤くなる。	炎に熱せられ赤熱するためです。
	炎がオレンジ色に輝く。	下記のような場合炎がオレンジ色に輝くことがありますが異常ではありません。 ●海岸に近い所など空気中に塩分が多い場合 ●空気中にほこりや水分が多い場合 ●超音波加湿器を使用している場合
	使用中にときどき「ポコ・ポコ」という音がする。	給油タンクから固定タンクの方に灯油が流出するときの音で異常ではありません。
	使用中にときどき「コト・コト」という音がする。	電磁ポンプの動いている音で異常ではありません。
その他	温風吹出口が汚れる。	「日常の点検・手入れ」(11ページ）にしたがい掃除をしてください。

●次の表にもとづいて、お確かめください。
●処置方法により処置しても良くならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現象／原因	点火しない	白煙が出てすぐとまる	使用中室内が臭う	使用中消火する	赤火で燃える	炎がリフトする	油漏れがする	E表示 E0 E2 E4	E表示 E9	E表示 EH	処置方法
電源プラグがコンセントに差しこまれていない	●										コンセントに確実に差しこむ
停電中である	●										通電されるまで待つ
対震自動消火装置が作動した				●					●		再点火操作をする／安定した場所で使用する
給油タンクに灯油がない	●										給油する
給油口がしっかりしまっていない							●				給油口をしっかりしめる
不良灯油を使用している	●	●	●	●		●		●			良質の灯油を使用する
送油経路に水又は、ごみがたまっている	●	●		●		●		●			送油経路の水抜き、オイルフィルタの掃除をする
給油タンクの装着が悪い	●			●							固定タンクに正しく装着する
オイルフィルタが取り付けられてない	●			●							固定タンクに正しく装着する
送油経路接続部がゆるんでいる			●	●		●	●				販売店に修理を依頼する
エアーフィルタが目づまりしている	●	●	●	●	●			●			エアーフィルタを掃除する
過熱防止装置が作動した：温風吹出口がふさがれている			●	●						●	障害物を取り除く
過熱防止装置が作動した：温風空気取入口がほこりでつまっている			●	●						●	温風空気取入口を掃除する
室温異常上昇防止装置が作動した				●							窓をあけ、部屋の換気をする
消し忘れ消火装置が作動した				●							再点火操作をする
チャイルドロックがセットされている	●										チャイルドロックを解除する

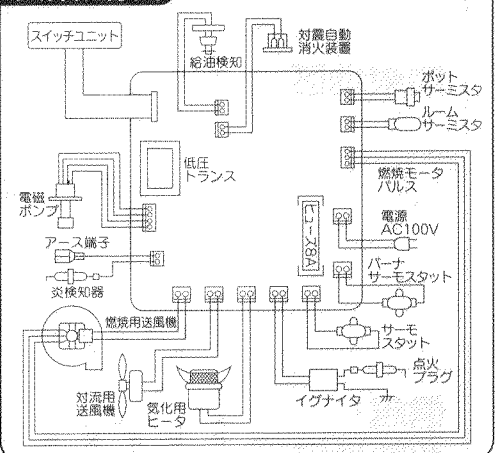
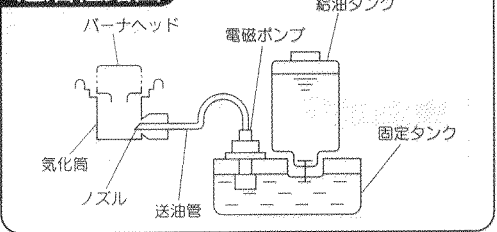
自己診断モニター

デジタル表示部に E 表示されたときは、下記の処置をしてください。

表示	処置
点火時及び、燃焼中に消火 E0 E2 E4	●オイルフィルタや固定タンクにごみや水がたまっていないか確認後、再度点火操作をしてください。 処置後も E 表示するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
電気系統の故障 E1 E5 E6 E7	●修理が必要です。 お買い求めの販売店にご相談ください。
対震自動消火装置の作動 E9	●対震自動消火装置が作動し、運転を停止しました。 周囲の点検・確認後、点火操作をしてください。
停電または過熱防止装置の作動 （作動時） -- -- （復帰時） EH （作動時）	●停電または過熱防止装置が作動し、運転を停止しました。 冷却後、温風空気取入口の点検・清掃、周囲の確認をしてから点火操作をしてください。

12 仕様

項目		仕様
型式の呼び		FH-E62Y（基本型式 FH-B62Y）
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		高圧放電点火
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）
燃料消費量	最大	0.642L/h
	最小	0.133L/h
暖房出力	最大	6.15kW（5,290kcal/h）
	最小	1.28kW（1,100kcal/h）
騒音（正面）		42dB(最大燃焼時)/34dB(最小燃焼時)
油タンク容量		6.5L
燃焼継続時間		10.1時間(最大燃焼時)
標準適室		木造 26.5㎡(16畳)まで コンクリート 36.5㎡(22畳)まで
外形寸法		高さ470㎜ 幅626㎜ 奥行310㎜（置台を含む）
質量		15.5kg
電源電圧及び周波数		100V 50／60Hz
定格消費電力		点火時最大 650/650W・燃焼時 34/34W
電流ヒューズ		管形ヒューズ 8A
安全装置		対震自動消火装置 過熱防止装置 点火安全装置 燃焼制御装置 停電安全装置 不完全燃焼防止装置 消し忘れ消火装置

実体配線図

送油経路図

13 アフターサービス

保証について

●このコロナ石油ファンヒーターには保証書がついています。
「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになり、大切に保管してください。
●保証期間はお買いあげいただいた日から１年間です。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
■変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
■誤った使用方法による故障や事故。

修理を依頼されるとき

●本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」（13～14ページ参照）の項に従って調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。
●保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
• お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間
• 石油ファンヒーターの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後６年です。

輸送時や運搬時に給油タンク・固定タンク内に灯油が残ったままですと、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。